



準備とチームワーク

准校長 近江 学

今月の6日には小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセルが地球に戻ってきたことが大きな話題となりました。このカプセルには、小惑星リュウグウで採取した砂が入っていることも確認されたようです。今後、カプセルの中身からどのような発見があるのかもとても楽しみです。

小学部では、毎日のように学習情報センターに来て大きなテレビ画面に見入っている子どもたちがいます。現在は、カプセルを帰還させた後、新たな小惑星に向かう「はやぶさ2」と地球との距離がリアルタイムに表示されていて、1秒間に4～5kmの速度で地球から離れていく様子が分かります。宇宙に関心があり、JAXA 宇宙科学研究所 相模原キャンパスに見学に行ったことを、目を輝かせて話してくれる子どももいます。

さて、現在日本の小惑星探査は世界をリードしていると言われていています。小惑星リュウグウは地球からとても遠く離れたところにあり、「はやぶさ2」が地球を出発し、調査して戻ってくるまでに、6年の年月がかかっています。大変難しい計画であり、「世界初の快挙、達成したのは日本だけ。」と聞くと改めて日本の技術力の高さを感じます。

しかし、今までのプロジェクトチームの記者会見やニュース等を見ていると、世界初の快挙を遂げられたのは「技術力の高さ」の一言でまとめてはいけないと思ういくつかの発言がありました。そのうちの一つに「周到な準備」と「チームワーク」という言葉が挙げられます。昨年2月と7月、探査機はリュウグウへの着陸に2回とも成功しています。着陸に向けてプロジェクトチームは、2年間にわたり様々なトラブルを想定した訓練を何度も繰り返し、想定外の事態にも対応できるよう「準備」をすすめてきました。着陸の訓練では何度も失敗したそうですが、訓練を繰り返す中でチーム力が向上し、最高の「チームワーク」によって本番2回の成功へとつなげています。

「準備」と「チームワーク」。この2つの言葉は、宇宙を舞台にした最先端の計画に限ったことではないと思います。日常生活の中でごく普通に使われています。学校へ行く準備をする。1時間目の準備をする。体育の前に準備運動をする。テスト前の勉強も準備になるかと思いません。準備をしっかりすると、準備が足りないのではその後の結果はどうでしょうか。また、チームで何かを成し遂げる。チームで競い合う。友達と協力したり学級や学年がまとまるのもチームワークになるかと思いません。こちら、チームワークがよかった時と、上手くいかなかった時の結果はどうでしょうか。実は、子どもたちは日々の学校生活の中で、このようなことを数多く経験し、学習を積み重ねています。「はやぶさ2」の快挙のように、子どもたちも大きく成長していくことを願っています。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策により保護者・地域の皆様に様々な場面でご理解・ご協力をいただきました。誠にありがとうございます。霧が丘学園は、子どもたちが安心・安全に通うことができる場所となるよう、しっかり「準備」を行い、「チームワーク」を高め、新たな年を迎えたいと思います。



学習情報センターでは「はやぶさ2」の最新情報が大きな画面で確認でき、たくさんの児童が興味をもって見えています。